

令和3年度 旭市一般会計 11月補正予算（第7号）

1. 予算規模

一般会計の補正予算は、4億4,300万円の増額で、11月補正後の予算規模は、320億500万円となりました。

令和2年度の同時期の予算額と比較すると151億900万円（32.1%）の減となっています。

（単位：千円）

区 分	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	増 減 率
現 計 予 算	31,562,000	46,784,000	▲32.5%
1 1 月 補 正	443,000	330,000	34.2%
補 正 後 予 算	32,005,000	47,114,000	▲32.1%

2. 歳 出

① 議会費 ▲1,556 千円

○議員報酬 ▲1,556 千円

人事院勧告に基づく期末手当の年間支給率引き下げ等による減額。

② 総務費 99,813 千円

○電算システム運用事業 7,452 千円

健康管理システムの情報標準化や、児童手当の特例給付に関する法改正等に対応するためのシステムの改修に要する費用。

○国庫支出金等返還費 78,164 千円

国庫支出金等の精算による返還金。

○住民基本台帳事務費 14,197 千円

マイナンバーカード交付管理・予約システムの導入に要する費用。

③ 民生費 8,143 千円

○ひとり親家庭等医療費等助成事業 8,143 千円

ひとり親家庭等に対する医療費等助成の申請額の増加に伴う、扶助費等の増。

④ 衛生費 100,000 千円

○（新）新型コロナウイルス感染症対応空床確保支援事業 100,000 千円

新型コロナウイルス感染症対策として、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを行っている医療機関に対し、県の空床確保事業に上乗せして交付金を支給する。

⑤ 農林水産業費 65,576 千円

○水田農業構造改革推進事業 40,273 千円

県の補助単価の増や、新規需要米（飼料用米・WCS）の作付け面積の増加による補助金の増。

○農地集積・集約化対策事業 2,303 千円

農地の集約化の協力者が増加したことに伴う協力金の増。

○（新）畜産環境対策総合支援事業 23,000 千円

市内畜産業者が、畜産環境対策総合支援事業の対象となったため。

⑥ 教育費 208,685 千円

○（新）感染症対策・学習保障支援事業 8,353 千円

新型コロナウイルス感染症対策として、市内小中学校が購入する感染対策用備品の購入及び学習保障の取り組みに要する費用。

○（新）中学校大規模改造事業 200,332 千円

第二中学校特別教室棟の大規模改造工事に係る経費。

◎ 人件費 ▲37,661 千円

人事院勧告に伴う期末手当の減額改定（年 4.45 月分→年 4.3 月分）及び人事異動による増減などを各款にわたり行った結果、人件費全体で補正額は 37,661 千円の減となった。

3. 歳入

① 地方交付税 341,027 千円

・普通交付税 341,027 千円

② 国庫支出金 90,905 千円

・個人番号カード交付事務費補助金 14,197 千円
・子ども・子育て支援事業費補助金 2,011 千円
・感染症予防事業費等国庫補助金 3,190 千円
・学校保健特別対策事業費補助金（小・中学校） 4,175 千円
・学校施設環境改善交付金（中学校） 67,332 千円

③ 県支出金 45,711 千円

・ひとり親家庭等医療費等助成事業費補助金 4,071 千円
・水田自給力向上対策事業補助金 16,337 千円
・農地集積対策交付金 2,303 千円
・畜産環境対策総合支援事業費補助金 23,000 千円

④ 繰入金 43,771 千円

・財政調整基金繰入金 43,771 千円

⑤ 市債 ▲78,414 千円

・中学校大規模改造事業債 99,500 千円

・臨時財政対策債

▲177,914 千円

4. 繰越明許費の設定

○ 教育費 中学校大規模改造事業